

編集後記

この号が、読者の皆様のお手元にお届けできる頃には、日本リハビリテーション医学会が創立されて25年、すなわち、1/4世紀の節目にも当たる記念すべき学術大会が、横浜市にて、大成功に終了している頃だと思う。大川会長のこれまでに果たしてこられた御業績、御学識の広さからしても、多くのスタッフの皆様の協力のもとに円滑に、とどこおりなく幕を閉じていることであらう。

本号の特集は“産業医学とリハビリテーション”である。本誌にて、産業医学をテーマとして正面から取り上げたのは、創刊以来、最初のことである。リハビリテーション医学も、幅広い領域にわたって守備範囲のある領域ではあるが、産業医学は更に、医学面から社会面までにも及ぶ多岐にわたる科学であることは申すまでもない。しかし、紙面の都合にて、両者の関係の一段面を取り上げたに過ぎないものになった。ご容赦を頂きたい。

執筆して頂いた蜂須賀、堀尾、三品ならびに畑田先生には、学会前のご多忙な時期にもかかわらず、御経験がにじみでた玉稿を頂き、厚く御礼申し上げます。

その他、研究と報告なども、興味ある有

意義なお仕事のご投稿を頂いた。今後のご研究の御発展をお祈りしたい。

講座も、三島先生からは、リハビリテーション医がしばしば臨床に遭遇する機会が多い末梢循環障害について、病理学を通じて分かりやすく解説して頂いた。また、木村先生からは、身体障害者の自動車運転などに関して、その現実、問題点を浮き彫りにした社会復帰の質にも関係する事項について解説して頂いた。両先生に対しても、厚く御礼申し上げます。

最後になったが、大川先生の巻頭言にあるように、今回、義肢装具士の身分法が成立し、新しい仲間を迎えることは喜ばしい限りである。これはリハビリテーション医学の着実な前進の成果である。

しかし、リハビリテーションを取り巻く環境には、幾多の問題が山積みされている。その中でも筆頭にあげられるものは、リハビリテーション科、呼称の問題である。一日も早く正式に、理学診療科という不可解な名称より脱却し、晴れてリハビリテーション科の名称が公式に使えるように、読者の皆様と共に、努力しようではありませんか！

(緒方 甫)

編集顧問

天児 民和
大島 良雄
河邨 文一郎
五味 重春
砂原 茂一
津山 直一
土屋 弘吉

編集委員

明石 謙
上田 敏
緒方 甫
大井 淑雄
大川 嗣雄
千野 直一
横山 巖

編集同人

赤津 隆
今田 拓
今村 哲夫
岩倉 博光
江口 壽榮夫
小川 孟
荻島 秀男
奥川 幸子
加倉井 周一
小島 蓉子
斉藤 正也
笹沼 澄子
澤村 誠志
高橋 勇
高松 鶴吉
武智 秀夫
土屋 和夫
土肥 豊
永井 昌夫
中村 隆一
野島 元雄
野村 歓
長谷川 恒雄
初山 泰弘
福井 圀彦
松村 秩
三島 博信
矢谷 令子
米本 恭三
渡辺 英夫
(五十音順)

総合リハビリテーション (第16巻 第6号)

1988年6月10日発行 (毎月1回10日発行)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

1部定価 1,750円 (配送料60円)

(年ぎめ予約購読料 19,560円)
(送料弊社負担)

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 社内案内 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5704

(担当: 山田・細田)

販売部直通 (03) 817-5659・5660

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 三報社印刷(株): 電話 (03) 637-0005

広告申込所 (株)東広社: 電話 (03) 409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1988, Printed in Japan.
本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。